

常任委員会 特別委員会



西町団地建設の現地視察



旧本岐小学校体育館の現地視察

総務文教常任委員会

第3回（5月16日）

- 町税条例等の一部改正について
- 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正について
- ふるさとつべつ応援基金条例の一部改正について

第4回（6月6日）

- 町内視察結果について
- 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- 平成28年度に取り壊す職員住宅の追加について
- 旧本岐小学校体育館のトラポリン協会での使用要望の対応について
- 機械格納庫建設に係るJAつべつへの町有地の貸付について
- 恵和福祉会特別養護老人ホームいちいの園等への支援について
- 町立特別母と子の家条例の廃止について

産業福祉常任委員会

第3回（5月17日）

- 相生アートコミュニティ施設（旧相生特別母と子の家）の設置に関する条例の制定について
- 町立老人憩の家条例の一部改正について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部改正について
- 国民健康保険税条例の一部改正について
- まちなか団地（Ⅲ工区）建設工事契約締結について
- 町道路線の廃止について（町道141号線、町道142号線）
- 町道路線の認定について（町道141号線）

第4回（6月7日）

- 町内視察結果について

議会運営委員会

第4回（5月23日）

- 妊産婦通院交通費助成要綱の制定について
- 財産の交換について（除雪トラック）
- 契約の締結について（西町団地外構工事）
- 農業委員会法改正に伴う委員の選任方法等について
- 「低炭素・循環・自然共生」津別町モデル地域創生プラン実施計画について
- 小規模事業者若者雇用促進助成金交付要綱の制定について

第5回（6月16日）

- 第3回津別町議会臨時会の運営について
- 第4回津別町議会定例会の運営について
- 意見書等の取り扱いについて

議会広報特別委員会

第18回（7月13日）

- 議会報160号の編集について

町長行政報告

報告された主な事項

第3回臨時会（5月26日）

- 叙勲 ■寄附 ■交通安全推進運動 ■公益財団法人 土木学会とのアセットマネジメントシステムモデル事業 ■「夢ふうせんほんき」の開所 ■阿寒国立公園の名称変更要請 ■放課後等デイサービス「すきつぶ」の開所 ■G7伊勢志摩サミット開催に伴うカーボン・オフセットの協力 ■雌阿寒岳火山防災協議会総会 ※ほか4事項

第4回定例会（6月23日）

- 叙勲 ■東武百貨店船橋店での「クマヤキ」実演販売 ■老人クラブ連合会事務局の移行 ■東京23区との連携交流事業 ■国営農地再編整備事業 ■台湾彰化県二水国民中学校との相互交流事業 ■カラマツヤツバキクイムシによる侵食被害状況 ■殉公者追悼式 ■北海道日本ハムファイターズ公認津別後援会の設立 ■津別町ペレット協同組合の運営状況

議会日誌

5月

- 16日 第3回総務文教常任委員会
- 17日 第3回産業福祉常任委員会
オホーツク町村議会議長会定期総会(大空町)
- 23日 第4回議会運営委員会
- 25日 オホーツク圏活性化期成会役員会・定期総会(北見市)
- 26日 第3回津別町議会臨時会
第3回全員協議会

6月

- 6日 第4回総務文教常任委員会
- 7日 第4回産業福祉常任委員会
- 9～10日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 16日 第5回議会運営委員会
- 23～24日 第4回津別町議会定例会

7月

- 5～6日 北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 13日 第18回議会広報特別委員会

意見書

関係行政庁へ
提出しました

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書

北海道町村議会議長会からの表彰

永年町村議会議員として在職され、地方自治の振興発展に寄与された功績により、北海道町村議会議長会長から表彰され、6月23日の定例会冒頭に表彰状が伝達されました。

・鹿中順一 議長 7年
・茂呂竹裕子 議員 15年

町村議会議員研修会に参加

7月5日、札幌市で道町村議会議長会主催による研修会が開催されました。研修では、立正大学客員教授・新潟経営大学特別客員教授 高野誠鮮氏が「ひとを動かし、まちを動かす」と題し、また、東京新聞・中日新聞論説副主幹 長谷川幸洋氏が「日本の行方」政局・政治展望」と題し、それぞれ講演がありました。



は り ま

本町の行政懸案は多々あるが、町民注視の複合庁舎建設が、当面する最重要課題と思われる。昨年の議会懇談会で参加者から発言があり、関心の高さを感じました。本年3月の町政方針で「公共施設等総合管理計画」の策定が説明され、町の施設の現状把握と、施設の利用見込や要望を含め、老朽施設の全体整備の素案が、今秋以降に示されることとなっています。今後は適期に議会や町民懇談を通じ、町民意向の集約がなされるものと思われませんが、「町は舞台・町民が主役」の町政の重大な方向性が形作られます。行政の懸案は高齢化の進展で「特養・ケア施設等が常に満杯」で、高齢者や家族の悩みのタネとなっており、雇用の場確保などを含め福祉産業の創設も大事と判断されます。次年度以降から膨大な公共施設の整備で、町民の意向がどう反映されるか、町民の選択にかかってくると思われませんが、止まらぬ過疎と高齢化や消滅自治体の報道を見つめ、真剣に考える重大な局面をやがて迎えることと思われれます。(谷川)

歯 車